

著者紹介

玉井 金五（たまい きんご）

1950年 三重県生まれ

大阪市立大学大学院経済学研究科博士課程修了

現在 大阪市立大学名誉教授、愛知学院大学経済学部客員教授、博士（経済学）

〈主要著書〉

『防貧の創造』啓文社、1992年。（第7回冲永賞）

『世界資本主義と非白人労働』（共編）大阪市大経済学会、1983年。

『大正／大阪／スラム』（共編）新評論、1986年、増補版1996年。

『社会政策を学ぶ人のために』（共編）世界思想社、1997年、三訂版、2007年。

『都市失業問題への挑戦』（共編著）法律文化社、2003年。

『高度成長のなかの社会政策』（共編著）ミネルヴァ書房、2004年。

『社会政策Ⅰ ワーク・ライフ・バランスと社会政策』（共編）法律文化社、2008年。

『社会政策Ⅱ 少子高齢化と社会政策』（共編）法律文化社、2008年。

『大阪社会労働運動史』第9巻（共著）大阪社会運動協会編集（発売：有斐閣）、2009年。

『戦後社会政策論』（共編著）明石書店、2011年。

『経済学の地下水脈』（共編著）晃洋書房、2012年。

『日本における社会改良主義の近現代像』（共著）法律文化社、2016年。

『福田徳三著作集 第11巻』（共編）信山社、2019年。